

## 景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和8年5月)

### ～現状判断は上昇も、DIは中東情勢の影響で低水準が継続～

- 景気ウォッチャー調査・5月調査の近畿地域の結果は、現状判断が43.9と前月比で2か月連続の上昇(+2.2ポイント)となったが、好不調の判断の目安となる50は17か月連続で下回った。先行き判断も39.6と、4か月ぶりの上昇(+2.1ポイント)となっている。
- 足元の景気については、インバウンド関連では中国による渡航の自粛が続いているものの、円安による追い風や昨年の反動に加え、中国以外の増加などでインバウンド消費全体は堅調に推移し、百貨店などからは関連売上の増加に関する声が聞かれる。さらに、月中旬以降は気温が平年よりもかなり高めとなったことで、各業界で夏物商材の販売が伸びたことも、一定のプラス材料に挙げられる。
- その一方、中東情勢の変化による影響は様々な形で広がっており、企業や消費者の活動に悪影響を及ぼしている。各種燃料コストの上昇に加え、石油関連製品への影響、特にナフサ不足にかかる声は少なくなく、幅広い業種に影響が出ている。
- こうした動きが、かねてからの物価上昇による影響に拍車をかける形となっている。結果として、消費者による節約志向もさらに強まっており、スーパーや家電などを中心に幅広い業界で購入量の減少などが指摘されている。
- 景気の先行きについても、インバウンド消費に関して一定の増加が期待されるほか、今夏も猛暑の予想が出される中で、夏物商材の販売増への期待が高まっている。また、株価上昇による消費面への好影響も期待されるなど、一定のプラスの材料はみられるものの、先行きへの不安の声は多い。
- 特に中東情勢の行方が見通せない中、各方面への影響に対する懸念は大きい。とりわけ、燃料や石油関連製品の価格高騰に加え、ナフサを中心とした関連商品の不足に対する懸念は多く聞かれる。いずれも企業や消費者の活動に対する悪影響は大きく、今後の景気を左右する要素として警戒が強まっている。
- さらに、中東情勢の混乱が物価やコスト全体の上昇に波及する懸念も依然として強い。すでに価格転嫁が難しい状況にある中、さらなるコスト上昇が利益の圧迫につながる懸念は大きい。また、物価の上昇による消費マインドの低下も懸念されるなど、今後の物価上昇による警戒の声は強い。

#### 「インバウンド」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	良くなっている	百貨店(サービス担当)	・今月も催事イベントのほか、食料品や総菜売場の改装効果で、来客数が約10%増となった。婦人服の初夏物商材やインバウンド需要も堅調で、売上は好調に推移している。
	やや良くなっている	百貨店(企画担当)	・25日現在で、インバウンド売上は前年比で4%程度増えている。中国からのインバウンドの売上は前年を10%近く下回っているが、それ以外の国の売上が大きく増えている。国内売上も、株価の上昇を背景として、高額品を中心に売行き好調である。
	悪くなっている	百貨店(広報担当)	・5月はあらゆる分野で前年の売上を上回る勢いである。特に、国内客の売上は前年比で1割増と好調に推移している。インバウンドも中国からの動きは依然として前年を大きく下回っているが、中国を含めた海外の富裕層の売上が引き続き好調で、免税売上は前年を上回る見込みである。

家計動向関連	やや良くなっている	百貨店（売場マネージャー）	・来客数は前年を大きく上回り、国内客、インバウンド共に、消費は堅調に推移している。株高や円安傾向が続いている影響が大きい。
		コンビニ（店員）	・気候の良い時期であり、インバウンドも少し増えた。近隣の学校でも運動会などが開催されたため、休日の来客数も増えている。
		一般レストラン（経営者）	・直営店のカフェは、欧米からのインバウンドの来客数が増えている。卸売でも各取引先からの注文数が堅調となっている。
	変わらない	百貨店（マネージャー）	・引き続き、国内の中間層の動きは堅調で、富裕層とインバウンドも好調を維持している。気温の上昇で暑さ対策素材が好調に動き出し、化粧品や婦人用品の動きが良い。特選品や時計などの値上げもあるが、全体的に客単価が大幅に上昇し、来客数の減少をカバーしており、売上の2けた増が続いている。
		百貨店（外商担当）	・海外ブランド品の価格改定が続いており、値上げ前の駆け込み需要が活発になっている。どれも高額品が多いブランドであるにもかかわらず、値上げが続いている。インバウンド売上も中国は減少しているものの、欧州や東南アジアは増えており、中国の減少を補っている。
		百貨店（宣伝担当）	・前年は大阪・関西万博の開催で好調となった反動もあるが、来街者や館内への来客数が減っている。特に、インバウンドの変動が大きく、航空券の価格が上がったゴールデンウィーク以降は落ち込みが大きい。
		百貨店（商品担当）	・足元の売上は好調で、気温の上昇によって夏物衣料が動いている。インバウンドも前年比で2けた増であり、中国人客は減っているものの、東南アジアが好調となっている。ただし、不透明な中東情勢に起因する物価の上昇といった不安要素も多く、消費マインドは完全には上がっていない。
		コンビニ（店長）	・前年は大阪・関西万博が開催され、インバウンドが増えたため、その反動が出ている。
	なっている	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・中東情勢による燃料価格の高騰で、インバウンドが減少している。
		コンビニ（経営者）	・欧米や東南アジアからのインバウンドが10%ほど減っている。社員の退社時間が18時から19時に集中しており、21時以降は6%ほど減少している。
	悪くなっている	一般レストラン（経営者）	・花見や歓送迎会シーズンが終わり、会社費用による宴会の需要はあるが、一般客やインバウンドの利用が激減した。生活関連での更なる物価上昇による、個人客の外出控えも影響している。

### 「ナフサ」等関連のコメント（現状判断）

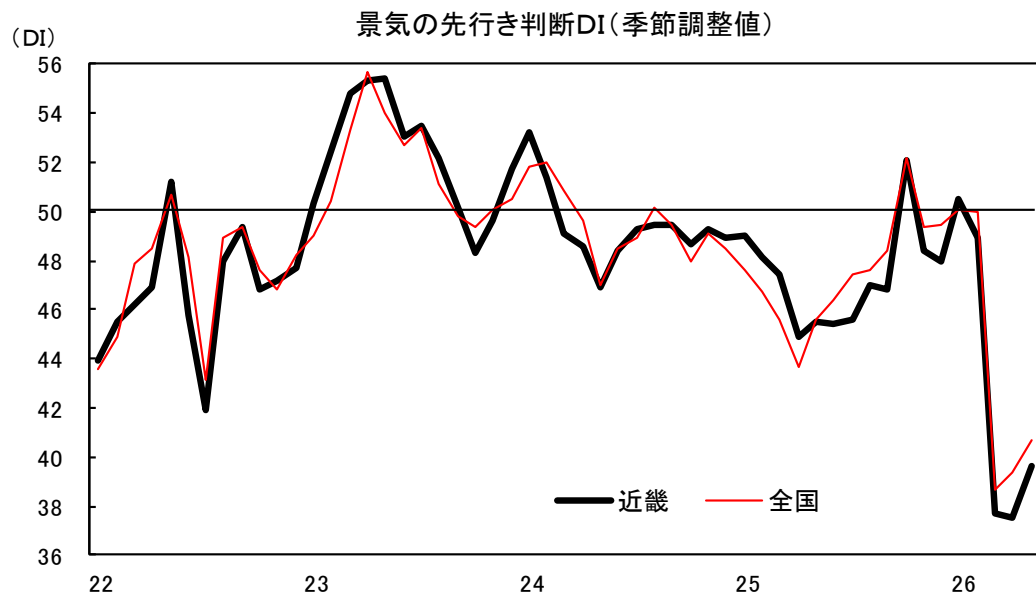
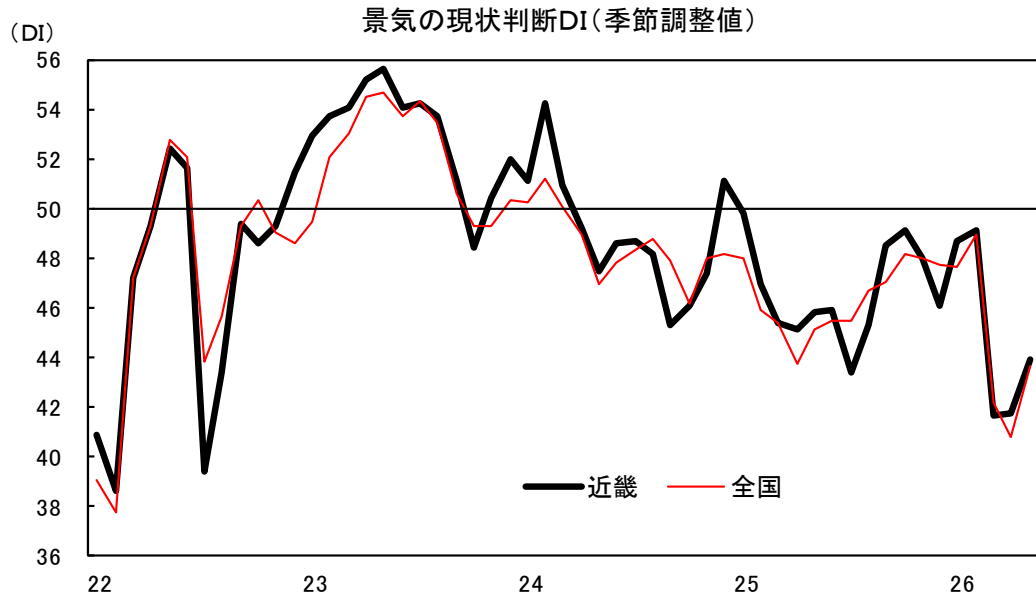
家計動向関連	変わらない	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・ナフサ問題の影響で、価格の上昇に加え、資材が入手困難な状況となっている。売上などにも影響が出るため、先行きが不安である。
		家電量販店（営業担当）	・ナフサ不足の影響で、新築住宅の着工が遅れている。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・ナフサの供給不足で、家庭用ゴミ袋などの業者による購入や、日用品関連のまとめ買いがみられる。
		その他飲食〔洋菓子〕（管理担当）	・前年の6月上旬から、駅周辺の工事に伴って客の動線が変化し、前年比で厳しい状況が続いている。また、ナフサ価格の高騰や物価上昇の影響で、し好品に対する節約志向が強まり、来客数に影響が出ている。
	やや悪くなっている	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・ナフサ不足の影響で、クラフトテープや布テープなどのこん包に使用する粘着テープ類が出荷されず、流通もしていないため、現場は困惑している。
		旅行代理店（支店長）	・物価上昇やナフサ問題が、旅行マインドに影響している。
		タクシー運転手	・世界情勢の変化やガソリン、ナフサの問題で、国内景気の悪化要因が増えており、タクシーの利用も最低限になっている。
悪くなっている	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・ナフサ関連の資材が入手困難であるほか、価格の上昇により、幅広い範囲での物価の上昇につながっている。一方、仕入コストの増加により、中小企業の業績への影響も今後大きくなる。	
企業動向関連	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先がナフサ問題の影響を受け始めている。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・ナフサ問題で若干の納期調整や価格の変動はあるが、今のところ大きな影響はない。
		建設業（経営者）	・引き合いが増えているものの、ナフサ不足の影響で材料価格が上がっているほか、入手しにくくなっているため、受注できるかどうかは微妙な状況である。
	やや悪くなっている	繊維工業（管理担当）	・仕入価格が高騰しつつある。ナフサ不足の影響はまだみられないが、今後の仕入状況が気掛かりである。
		化学工業（企画担当）	・ナフサの問題で包装材料の供給不安があるため、いつ製造停止になるか分からないという不安がある。
なっている	金融業（営業担当）	・中東の海峡問題の影響で、ナフサ関連の商品の仕入れが難しくなっており、商品のこん包や出荷に影響が出てくる可能性がある。	
	金融業〔投資運用業〕（代表）	・中東情勢の影響で、従来以上に物価の上昇が激しくなっている。ナフサなどの石油製品は、前年の米と同様に一部の企業が抱えている可能性もある。	

企業関連	悪くなっている	その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・ナフサ関連の二軸延伸ポリプロピレンの袋など、資材関係が品切れとなっている。価格の上昇を見込んだ駆け込み需要が原因とみられるが、製品を入れる袋の不足で、業務への支障が予想される。目下は社内在庫分で対応しているが、6月後半には切れると予想され、調達に苦労している。一方、取扱製品のタオルは精練工程での重油のコスト増により、7月以降の値上げ交渉が本格化するなど、コストアップが顕著となっている。当社による価格転嫁は、コスト全体がはつきりしないため交渉に入らず、7～8月はコスト上昇分を自社で吸収する必要がある。
雇用	なっている やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新聞広告やデジタル版の広告などの宣伝費が縮小しているなど、ナフサ問題の影響が出始めている。

### 「原油、燃料、ナフサ」等関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	変わらない	スーパー（企画）	・ナフサの流通の目詰まりによる包装材の値上げもあり、食品の価格は今後上昇が進むため、消費の冷え込みが予想される。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・宝飾品業界では、材料である地金相場が高止まりしているほか、直接の関係はないものの、ナフサ不足による資材価格の高騰や資材不足で、値上げや企画の変更、欠品なども起きている。現時点では、景気の上向き要因が全く見当たらない。
		その他飲食〔洋菓子〕（管理担当）	・駅周辺では大規模な工事が続いており、今後も来客数への影響が懸念される。さらに、ナフサ価格の高騰や物価上昇の影響により、し好品は買い控えの傾向となる。今夏は例年以上の猛暑が予想されているため、非常に厳しい状況となる。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・催事は順調に開催されているが、ナフサ関係では消耗品が調達しにくくなっている。また、施設の改修工事に係る塗料不足や塩ビシートへの調達が困難となっており、計画的な改修計画の変更や見直しが必要となる。
	やや悪くなる	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・ナフサ不足の影響で、現場で利用するニトリル手袋などが不足している。
		百貨店（売場主任）	・中東情勢の不安定化によるガソリンやナフサ価格の高騰で、生活物資の価格上昇が懸念される。取引先からは包材などの値上げが厳しいという声が上がっており、インフレ懸念が解消されなければ、今後の景気は悪化していく。
		スーパー（企画担当）	・ナフサ由来商品の不足や値上げの動きが続くなか、インフレや中東情勢の先行きの見通しが立たないため、景気の悪化が予想される。
		スーパー（販売促進担当）	・政府はナフサの供給は落ち着くと発表しているが、中東情勢の沈静化は見通せず、景気回復に向かう材料がないため、しばらくは現状のままとみられる。
		スーパー（企画）	・中東情勢の影響が長期化しており、6月からはナフサ問題による価格上昇分の転嫁が始まる予定である。ナフサ問題による負担の増加は、全体で1億円を超える予想であり、店頭価格に転嫁せざるを得ない。
		一般レストラン（経営者）	・当市限定で、人気のプレミアム付商品券のキャンペーンが始まり、飲食店での利用が増える見込みのため、景気は少し良くなる。ただし、食品の値上げに続き、ナフサ不足で消耗品などの値上げや物資不足が進み、支出が増えているため、今後も先の見通せない不安な状態が続く。
その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅ローン金利の急上昇に加え、ナフサ価格の高騰による建築費の上昇も懸念されるため、今後は消費者マインドが更に悪化する。		
企業関連	良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・中東情勢が見通せないなか、円安の進行や海上運賃の高騰など様々な影響が出ており、物価の上昇気運も高いことから、販売面への悪影響が予想される。一方、取引先からはナフサ関連の引き合いがあり、価格が高くても成約につながる案件がみられる。
	なる やや悪くなる	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・ナフサ不足により、ゴミ袋などの身近な商品の価格が上がるだけでなく、そもそも買えない状況となっている。この状況が長引くようであれば、更なる景気の悪化は避けられない。
雇用関連	変わらない	その他雇用の動向を把握できる者	・事業所からは、中東情勢の影響でナフサ由来の原材料が入手困難という声や、仕入価格の急激な上昇を懸念する声が出ている。雇用に影響を及ぼす事態にならないか、状況を注視しているが、現状では大きな変化はみられない。
	なる やや悪くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・エネルギー関連や石油製品などの調達難やナフサ不足のなか、日用品や建築資材など、あらゆる分野に影響が出ている。通常の業務に支障が出ている業界もあり、業務の停止や、最悪は倒産に至るケースも考えられる。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		24年					25年					26年														
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
現状判断	近畿	47.5	48.6	48.7	48.2	45.3	46.1	47.4	51.1	49.8	46.9	45.4	45.1	45.8	45.9	43.4	45.3	48.5	49.1	48.0	46.1	48.7	49.1	41.6	41.7	43.9
	(全国)	46.9	47.8	48.3	48.8	47.9	46.2	48.0	48.2	48.0	45.9	45.4	43.7	45.1	45.5	45.5	46.7	47.0	48.2	48.0	47.7	47.6	48.9	42.2	40.8	43.6
先行き判断	近畿	46.9	48.4	49.3	49.5	49.5	48.7	49.3	48.9	49.0	48.1	47.4	44.9	45.5	45.4	45.6	47.0	46.8	52.1	48.4	48.0	50.5	48.9	37.7	37.5	39.6
	(全国)	47.0	48.5	48.9	50.2	49.5	48.0	49.1	48.5	47.6	46.7	45.6	43.7	45.6	46.4	47.4	47.6	48.4	52.2	49.4	49.5	50.1	50.0	38.7	39.4	40.7

※季節調整値